## 会議名 年月日 場所 記録者名 第2回防災ネット連絡会 令和5年9月15日 早稲田公民館 \*\*\*\*\*

## 出 席 者 13名

- 1. 防災ネットの役割、意義、目的の再確認
- 2. 情報共有
  - ・『ひろしま減災授業 2023』の配付
  - ・早稲田小学校区防災カルテ(地震)の配付
- 3. 活動報告
  - ・自主防災の活動報告
  - ・防災ベンチの紹介
- 4. わせだ防災についての課題(意見交換)
- ・まず、自分第一 自分が助からないと何もできない(人を助けることはできない)
- ・自宅で被災することを中心に考えているが、外出中の被災も考えないといけない。
- ・被災していないところ(建物、場所)に行くことも、被災時の対応をして考えられる。
- ・障がい者、高齢者は雨の中の避難はできない。
- ・避難所ではなく、ホテルへ自主避難される方もいるらしい。
- ・なんでもない時に、避難所生活を経験するのも面白いのではないか
- ・体の不自由なご老人を意識した避難の準備を考えられているか(避難することでさらに体調を悪くしないように。避難してもベッドに手すりなどをつけて動きやすくできないか)
- ・生活のことを考えると避難へ行くことをためらう。
- ・避難先にも手すりが必要
- ・『わせだ防災プラン』良いことが書いてある。これをもっと生かす方法はないか。
- ・早稲田には様々な団体があり、何人活動されているかわからないが、防災・減災には横のつながりが 重要である。
- ・『わせだの日』を決めて、防災関連の意識づけ活動をしてはどうか。
- ・社協だよりに『防災豆知識』として、毎月、情報発信してはどうか。
- ・学生は学校で地域の危険な場所(倒木や地震の時にブロック塀が倒れそうな所)や防災について学ぶけど、ご老人などはそういう場所を把握されてるのか、情報を伝えるにはどうしたらいいか→普段から横のつながりが必要。
- ・配付資料の「ひろしま防災授業」の4ページ目(・もしものための備えを見直そう。・お互いに助け合う気持ちで行動しよう。・挨拶や地域清掃は助け合いの初めの一歩。・助けが必要な人を把握しておく。)、「今日話してる課題はこれらにあてはまりますね」という話になった。。
- ・公民館ロビーで展示している防災用品は、実物が見ることが出来てとても参考になる。
- ・緊急避難先としてマンションを活用できないか。
- ・被災時に助け合うには、我が家の衣食住がそれなりに安定しないと無理。そのためには日頃の備え(備蓄、心構え)が重要。
- ・日ごろから水、食料をストックしていれば、災害時に買い出しなどストレスがなくなる。他に頼ることなく心にゆとりができる。
- ・地震時に倒壊しそうなブロック塀、擁壁の認識ができているか

5. 問題、課題
【①問題】(できていないと思われること、不足していること)
  □障がい者、高齢者にやさしい避難所になっていないのではないか。(ベッド、手すり)
   □小学生、中学生への教育はされているようだが、大人への教育 (周知) ができていないのではないか。
□地域の方に防災を意識して情報を知ってもらうにはどうしたらいいのか
  □地震時に倒壊しそうなブロック塀、擁壁の認識ができているか
□地震時に倒壊しそうなブロック塀、擁壁の認識ができていないのではないか
【②課題】(これからやった方が良いこと、やらなければならないこと)
□体の不自由な方を連れて避難ができない。横のつながりが必要
$\Rightarrow$
□避難所(集会所、公民館)の停電対策をいかに進めるか。
$\Rightarrow$
□健康な人を基準に避難所の準備がされている。高齢者、体の不自由な方の対策をいかに進めるか。
$\Rightarrow$
□ペット同伴避難の対策推進。情報提供
$\Rightarrow$
□地震時に倒壊しそうなブロック塀、擁壁の認識促進
$\Rightarrow$
□大人の防災意識向上をいかに進めるか
$\Rightarrow$
【③防災ネット連絡会で出た解決策】
・防災意識向上に関しては、社協だよりに防災コーナーを設け継続的に『防災豆知識』など情報発信で
きないか。
6. その他
【要望】
・わせだ防災マップを欲しがっている方がいる。在庫はないか? 増部は可能か?
VA D T
次回連絡会:11月30日(木)予定